

【宵宵山】

鉦方の一人は子供宵宵山

本橋康子

【宵山詣】

願ぎごととはひとつ宵山詣かな

中村汀

【屏風祭】

屏風祭紙燭ともしていざなへり

本橋康子

屏風祭昔々の明りかな

同

大格子外して屏風祭かな

中西幸雄

宗達の屏風を見たる祭かな

同

屏風祭屏風の前に琴ひとつ

氷室茉莉

招かれしごとくに屏風祭かな

岩根壽美

屏風祭秋草の絵の中にをり

橋詰育子

灯ともして祭る屏風の金と銀

澤田美那子

この家の奥の奥まで屏風祭

同

屏風祭閑の一字の軸の前

同

【屏風飾る】

風生まる屏風飾りの秋草に

大塚直子

飾りたる鷹の屏風の前にまた

長谷川權

【宵飾】

波に浮く崑崙山や宵飾

中村汀

【誰袖屏風】

今年また誰袖屏風にゆかん

上松美智子

うるはしき誰袖絵図の屏風かな

坂元初男

【鉦提灯】

鉦提灯うつし世の闇照らしけり

中村汀

母ありし頃の灯の色鉦提灯

同

夕風や灯りそめたる鉦いくつ

佐々木まき

鉦灯る都大路となりけり

川村玲子

鉦の灯や京の山々なほ暮れず

同

【射干】

射干のうしろ坪庭しんとあり

山本華子

射干のうしろ誰が袖屏風なる

中村汀

檜扇に塵一つなき町家かな

近藤沙羅

檜扇や家の玄関仄暗く

清田喜代子

檜扇が咲けば祇園会みにゆかん

坂元初男

【鉦みくじ】

鉦みくじ大吉と出てあなかしこ

上田悦子

【鉦見舞】

紅白の鉦提げてゆく鉦見舞

清田喜代子

【鉦見台】

物干場に似て非なりき鉦見台

清田喜代子

【鉦見物】

鉦見物おんなし辻をまた曲がり

長谷川浩子

【浴衣】

横町の老いも若きも鉦浴衣

山本華子

鉦見遣るあやめ模様の浴衣かな

同

浴衣の子ならびて粽どうどすか

梅田恵美子

鉦の縁浴衣の尻を並べたる

長谷川權

【山鉦】

峯雲に鉦の切つ先とどきけり

山本華子

次に来る山鉦の名を言ふ子かな

木下洋子

山鉦の品定めする雨夜かな

本谷厚子

山鉦のあまた結び目美しき

西澤麻

山鉦のいづれ哀しき物語

萬燈ゆき

【鉦】

鉦にのるひとのきほひも都かな

其角

鉦済むや流るるやうな人通り

鳳朗

夕涼の鉦中茶会ことのほか

中村汀

世の塵を払ふがごとく鉦の紙垂

佐々木まき

鉦高し東山より風吹いて

山田寿美子

高々と鉦の切先過ぎゆきぬ

元屋奈那子

行きも来もならぬ大路や鉦仰ぐ

安藤久美

大輪の華のごとくに鉦のあり

坂元初男

みちのくへ鉦のよき風送りましたし

近藤沙羅

鉦さしむごとくにこの世さしみけり

長谷川權

鉦仰ぐ衆生を入れて大庇

同

鉦は舟町は海なりえんやらや

同

【祭鉦】

祭鉦こぼれんばかり人乗せて

佐々木まき

祭鉦夏まで曳いてゆきにけり

横山幸子

祭鉦都大路をほしいまま

上松美智子

【曳山】

曳山や姿よき松引き当てし

大場梅子

曳き山の松高々と吹かれけり

木下洋子

曳き山の松はこの世のものならず

長谷川權

【籤改め】

少年に籤改めは大仕事

石川桃瑪

【鉦廻し】

音頭取扇ひらりと鉦回す

本橋康子